

発熱による自宅待機者が出た場合の清掃に関して

1. 目的：感染（疑念）者がウイルスを付着させた可能性がある箇所を消毒し、接触による二次感染を防ぐ。
2. 準備物：保護具（使い捨て手袋、マスク、可能であればエプロン、ゴーグル）
消毒液（70%程度の消毒用エタノール、もしくは、ハイターなどを用いて、0.05%次亜塩素酸ナトリウムを作成）
紙ナプキン、タオル等、破棄可能なふき取り掃除具
バケツ
大きなゴミ袋×2
3. 方法
 - ① ゴーグル、手袋等の保護具を着用します。
 - ② 消毒液をバケツに準備します。これで十分に湿らせた掃除具で、当該者の接触可能性が高い場所を拭き掃除します。具体的な箇所として、「感染（疑念）者が主に活動する席などから半径約2mの範囲で、よく手が触れるところ（デスク上、椅子の手すりなど）」、「建物・トイレのドアノブ」などです。
 - ③ 掃除用品、保護具を破棄する際には、手順に注意をお願いします。
 - i. 掃除用品を捨てます。
 - ii. 手袋を添付の画像に従って外して破棄し、手をエタノール等で消毒します。
 - iii. ゴーグルの表面以外を触り、外して捨てます。
 - iv. エプロンを添付の画像に従って外して破棄します。
 - v. マスクをゴム部分だけを触って外した上で、破棄します。
 - vi. もう一度、手の消毒をします。
 - vii. 上記が入ったゴミ袋を、もう一度、別のゴミ袋に入れ、廃プラスチックとして破棄します。
4. 注意事項等
 - ・消毒液の噴霧はウイルスを吹き飛ばし、空気中に舞わせる可能性があるので厳禁です。
 - ・次亜塩素酸ナトリウムは金属を腐食させます。金属に使用した場合は、消毒液が乾燥して10分程度たった後、水拭きをしてください。金属部品の消毒エリアが大きいのであれば、エタノール系の消毒液を使用するのが望ましいです。
 - ・消毒液の原液には、皮膚や眼に対する毒性があります。準備の際には、手袋・ゴーグル等の保護具の着用を徹底しましょう。
 - ・作成した消毒液は取り置きできません。使い切りを原則とし、もし、残る場合は、紙タオル等、ふき取りに準備した用具にしみこませ、ゴミ袋に破棄してください。
 - ・消毒液の濃度は厚生労働省の指針に準拠しております。

出典：厚生労働省『新型コロナウイルス対策 身の回りを清潔にしましょう。』

URL: <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000614437.pdf>)



(1) 皮膚に直接触れないようにする。



(2) 手袋の内側が表になるよう静かに外します。



(3) 外し終わったら手袋を、手袋をした方の手の中に丸めます。



(4) 手袋を外した手の指先を、もう一方の手袋の内側に差し入れます。



(5) そのまま引き上げるようにして外します。



(6) ひと塊となった2枚の手袋をそのまま廃棄します。



(1) 首ひもを引きちぎります。



(2) エプロンの上半分を前につらします。



(3) エプロンの表側に触れないように、エプロンのすそを内側から持ちすくい上げます。



(4) 折りたたんだ状態で腰ひもを引きちぎります。

次亜塩素酸ナトリウム溶液「ハイター（塩素系）等」5～6%原液を使用する場合の原液の量

濃度	0.05%(500ppm)
作りたい量	
500ml (0.5L)	5ml+水495ml
1000ml (1L)	10ml+水990ml
2000ml (2L)	20ml+水1980ml
3000ml (3L)	30ml+水2970ml
4000ml (4L)	40ml+水3960ml
5000ml (5L)	50ml+水4950ml

* 通常、ハイター容器のフタに入る量は25ml、ペットボトルのフタに入る量は5ml